

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 数学 科目 数学Ⅲ

教科: 数学 科目: 数学Ⅲ 単位数: 4 単位
 対象学年組: 第3学年 4組~ 5組
 教科担当者: 坂口 誠大
 使用教科書: (高等学校 数学Ⅲ(数研出版))
 教科 数学 の目標:

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅲ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	関数、極限について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培う。また、それらのよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	第1章 関数 第2章 極限 第1節 数列の極限 第2節 関数の極限	【知識・技能】 定期考査・小テストなど 【思考・判断・表現】 定期考査・小テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物・授業中の態度など	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1
	微分法とその応用について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培う。また、それらのよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	第3章 微分法 第1節 導関数 第2節 いろいろな関数の導関数 第4章 微分法の応用 第1節 導関数の応用	【知識・技能】 定期考査・小テストなど 【思考・判断・表現】 定期考査・小テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物・授業中の態度など	○	○	○	31
定期考査			○	○		1	
2 学期	微分法の応用・積分法について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培う。また、それらのよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	第4章 微分法の応用 第1節 導関数の応用 第2節 いろいろな応用 第5章 積分法とその応用 第1節 不定積分	【知識・技能】 定期考査・小テストなど 【思考・判断・表現】 定期考査・小テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物・授業中の態度など	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1
	積分法とその応用について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培う。また、それらのよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	第5章 積分法とその応用 第2節 定積分 第3章 積分法の応用	【知識・技能】 定期考査・小テストなど 【思考・判断・表現】 定期考査・小テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物・授業中の態度など	○	○	○	31
定期考査			○	○		1	
3 学期	積分法とその応用について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培う。また、それらのよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	第5章 積分法とその応用 第3章 積分法の応用	【知識・技能】 定期考査・小テストなど 【思考・判断・表現】 定期考査・小テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物・授業中の態度など	○	○	○	16